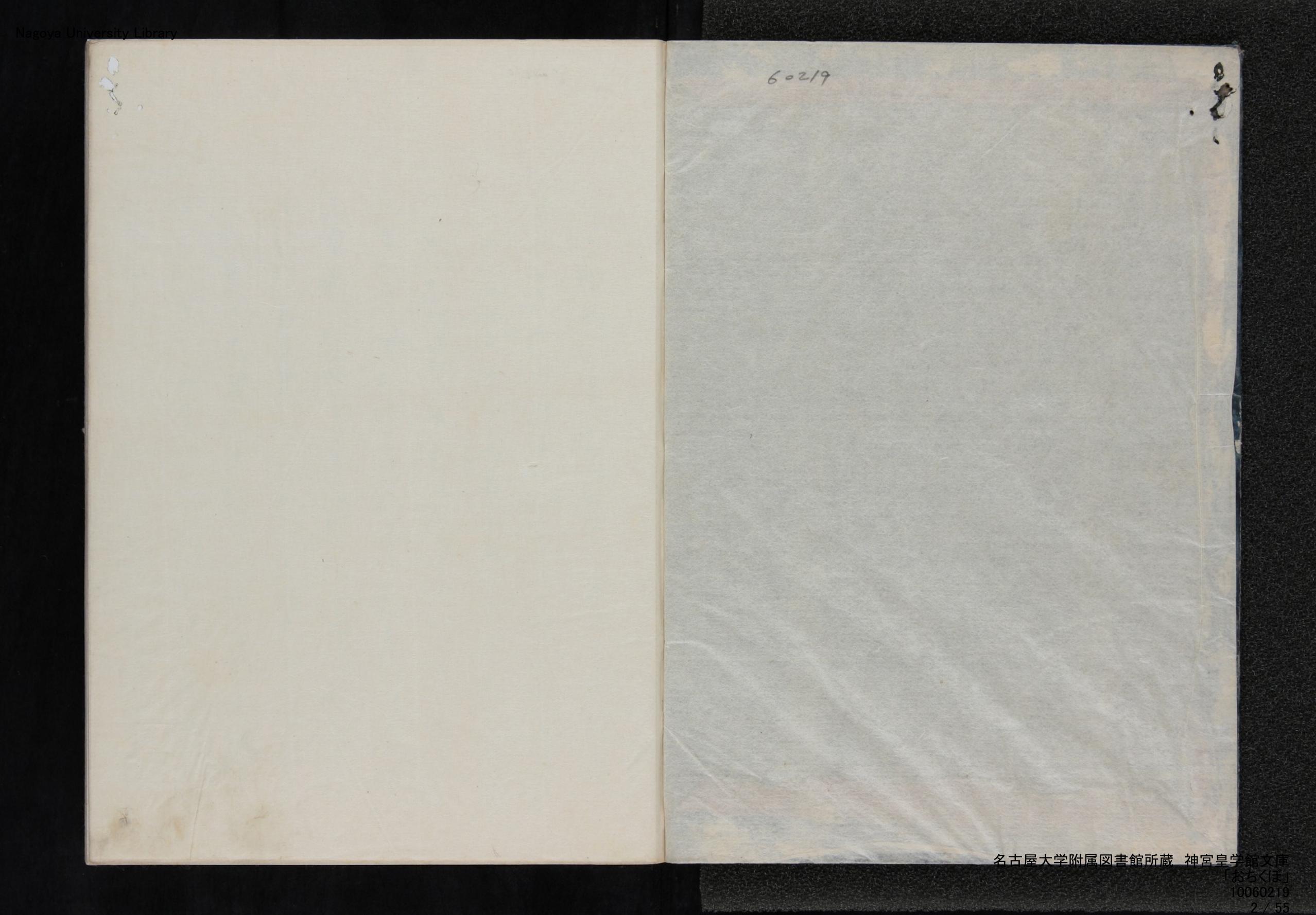
古屋大学附属図書館所蔵 神宮皇学館文庫 「おちくぼ 1006021



ゆきんうてたとったのる 三年あいとったてそくにろう き、めてみるううつかりきっと てかなりたときるろう かとりろうまへっからこうの くなきま ケタへこ大宮のいちな れていとあるれるなんたかい ゆらいるそつて三まりと 一六月まならなんうい 一物でかくだるか

してうアかちことするにして なるいりりんをきんられる いてなり、君をのなりしてころ むりとううかるて傷つるよう このありててとつるても思 丁れをめありき人へいしあるにあ りろきていてよりいのつるとっ こ君をいあられこのまていして 给よいてできるるる ハケーいいるやすやうよいかし くてかと ヨカ

えていりつううてきりか日 なとからこよりせてそつりう ひいせるなるれてこつ月十九日 うりけるくてをりんいつうちちゃ うこうするうしてつる きりたまうけようつ中物での くわなんといかくつきまな りるなそくでんこうでまる ゆいありやそれしてからきいろ まっていってわりきんり を言う へい

つれるりきうの君とていと 中物气了き いてせてまたさるんだらわなけ そもとなっていまでまとき 十九日よりそん人くつううそく 女君るとうろ人へいとよう町る 了てきるでも見いてる てりせるせんこく からかんいて たくろうううつろうくれてかり いるみきめあるうたろう けぬとうーク めきあり 君色秋心

るせいれてわりき物ときして つ所なるくいってもました 一の人はにろくるる三つ君ののり そうのをようこるをう うんいうでまってしていうきつ ろいまでもまっくちれり見 ういき人なからたっからくし をぶつかしてきつつくまろや いっましとらいっくねるからい けなる物であっているかできて

てるりてあやつむしかるとき からわっくせへてもちててつ るるあいつきるるはって「五六人 てみるむのくかくつうりかかか ダニティス一町はまいらでしたこ 一町よかうろれているえる てくるはつつりてかるろうち しかもろろうるきりーさ かられてもかりむりの町ろ しからあるいかしう人にかる りたろ

きしとんやうしかるようりとろあ アハー・きくんかかつれてる うすいろうわこれもあやなした ついむとうす物のかるりまて クケショわいめへしゃ思いあい いかうるまたろううう とかるすいとつまりうてうつる てうたちにつかれきくて生き とうちそのいてろういありか うてるかるのてからき りょか われなめる

またろうるるという むいましたかつろうやうてあ よえかきなしるのでできれ からこいりはは食るいかくそう らんしまうかられてかましてい やとりもまるきんろういか をきんうかいきるれてかりい りていいるりい给をなってとか 少へきょかすごうちつるて れててくってくろへない

アグラなるうちかんてをき きつきらしてているろうむり クケてまでするうりうも ターとているでかきてか他 るみいとしろうろろうけな のからなってむり物る よういとろれているあるう いいかるってかり いえなくてからきてできる しいちしてあるれなるれる 13 君

るを作るうんいるすることようあ こてうかるいつでやってるかか りとましころろへにとうからか のこのりりつかるるであのう やりーてたくるとうつうなるちゃ れるくの物なこれでれかろ てあるういえてかまちてゆ ?てあすらる~~てゆる くつゆえてうしきつるて 1きつうくしきむめてこ 少元 啊

うるをあるれていきてけるなき からこうろうこるわるころう うち一野るめてなりいるから かしていしまうるもうにきてい ててするあすりるとうない つてるる人多一的をかして るあすりるとかんきくまっちて つこめていり、一三きしとめはころいるつと しありまりりするころっとす くろきていつこう人ろとこへる とき

う物にするもあすなんから うかてまうてきてするる よろできてからくてはらけ てつううころすんごうかい かころいてかりまくくある き一町うかときったてってきし てとうるきてして入りちて きやてわらうなつかるってると つたてへき一町からないっつして くかとしろむからから

こをよかろしるいちてて るついつかれるているりつ かんまいてくろしまくまたと うて给てるよれろうき ひいうかつきゅうをありは らむし回えたいからてより あかいうちょまといまいとい えしていてちもきるか そしるあへはいちましいてた くうかかついへてわってるあろう

むらいないってることうにん 成いっていでうることかくていわ あてるんけるとまりてまう ろうてなんはいいうようっとん ろうる世にるかりるるきんろ すまるつかんとてきるうと 町三年月份ない月三ろほろ て行度かとりまてうころ我 とりものまうてうてこのころ れっより一個なるのあるるよ 05 多一股 芝市

えとしてつまやうろていた きててるいってなしている らんというかけきるるにはり 今かのをきんめからよりいてある きっていといとうちけき うだろううしょうりきあ さめる一きっていくまてけ いめるよりできるこうくな くちるるるからてるれてこ 一个いちこのつきて一たり へう给い

なんーやなりのちにきてあや をすなうときつつつてあ アクへてこうまでしるちてつ あるまってるさそけ物で るへき、てよりうちかり うくめとつまるいはてくりいっ ましいようなねならをきん ゆんとてるろう町すりせる場 アて人りるれるなんとす 一つかりまにてりまかつけい こう液

のえていしまけらんついつよ アータうしまったかわるそう うてきへるないとないくする 成しようなでいつけることいか いいたもことでゆりしてなる るいけかくをつきんつとん かいつけゆていかけてたよう かりちからるる古ついたなる なることろろうかかりり 行きるうてたろうて我とわか

あすりかせんの人くりつよい つってていっちむとアタ てきつったてなかとうせんへ まりすみつうまりむとする うからせるいとるってとい るていまかせゆむして三条 りあてきぬまけ他をたっ りょいへきこりをある きるるる心ちありくてか とゆるるかこうましけき

こるよれでてかろうる かってもきるいてすれの 25せんめていかこまってい そうえきてきるしのである るきてるかれてなんでやう あやまりとかえんとうる るきてからしけてあるれとれ るうんいからり物れたろしい りくいわつってるあいてごつう してないもしれて あっくがんいた かおう

いいう をもろくうわかるろうろう かくられていくるはってんさせる へにろうらうう一ろんならたろ なこうしめてしてもうとう ろれなくりくうとかりろうち かくまてかれをくたっきか あっくなんちりれつるかい彼り らすなんろけき、アオトアセチ うないてけついるしきかる まったういろことで有

かりいてアよ、 なんゆりかととそろかかか るかいつりててうろう ていらうなつくりんかるる 子をくちをあるかいいち らいつきてはいるのろう かいろうきあってかりてます 行のさせゆきといまいまっていて れかくろうととてはるもの そういめてゆるってはいきて とろ

るけきまるんいにかいとれるろ らんまるはなけるこんいっまかか えんゆむとしころつくれてわる きくきちでんつうといういう てからめるたけくくときてかる よいまりかりるををろうる ひとりえてるかきいろうか やうろもあたとかとから 外コマヤラスきろなんるきと 了一班八三条了了有名

大下つかやりてなりりいつか るかけきるうむつかいつちょ ううまででかってのかっ かけとうてまたるったうちき 人をころのもからったってき てという行とは見りるろうた うまわらむりからるりんか まつるなちくしてつちるんかく 了むりかかってるろりかってまた てまたてでましとりまていり

でつかかてそうなられるす 大百分八つきいりてをそんろう ことうをあるすろうていとうた かってつくいするれらうまる きてきてするできていかういいて ないとうててうたそうかとて かてちょてやかめてらかをで りするうるかいるようううりす ずしをあるするちでんのりそいかつりきてる こうもつちるゆんしてい

かしその人くうことるかとうの いてかろうろうへつう人から むなといくてうる物をかほう かりやとるりともはころかやもち うせかうなかをわてて 人いかきものからいちとろうなあいます 久てからくりつ思めてつつこと ろういかーき度時行あの徐 させんとうかかくつ物かにく にかくうせるうろかろうろりつ きって

ることかつるんとうでそりから てをうちろうるいそろうあ によとるなうりろうでき こまうなちてんつってかりん をきんのうとおきて秋ききこう 言るよいものなるにてこれ人 ういなくいまめかううらり てカタできるるのかうつある とするいきるにいれずな てせてうよううてく一くたろ

やら谷るをはけしてきても てこえるんをめうちるる をなくいかちてもれるか よいきていていへきるうする たかすむとなってろうさま ろうふけるいるおりむいと てえまてけるころてんいか 了るでととりしてはあるかか しむやうラネナケてかるか きこといあのまってつろい か

今人あするしてしたる物 てうちゆうものりきてこのは むとうでまかくそてそう よからかやしつせてまないう いてくれて一二日いうの物かへて てからるとろうやとく ノるやこのをまってことよ とあつまってかけくむき したと君なたりつめてたち らちたしんかくうまなな

ろくてかり給作さるかろむ をきんべう一位てをきんうしてる 25を人つ~きいってかる 生それてきるりへくろてみる へくのとうつてこかしやうつか るっていと今めりうれり一四 えまろうかりかり 三日のほ してわりまいときったるんちかい 一くなんしわむとせていとかり 小の方をうとれらいをや了

るあやうれかすむしかり えのこうなるかへしてかきる ヤいとかりきにいてるこうれる てたりんようせてたちゃんつう そるつべてたちせんのってこう 行物からつくるととうたまる とうちまってこうしからなる くうつきこの夕てかむくし あんくれてうきとしてーます ますりまいとうきしちろる

そせてわらっちりきりしかるか うこうを物してまていのかさ そちきるいはもんかちゃ にいるううというからんと ちりせてきしれらるきっ きとうきにちるかあすりかり りないなきそうたりんな たしいうするちょうしき きいとうしたちゃんつっといと はいれてるりからるるを

あやしかえてそうれでうう つべてかかりつてきせるいてな まいされるかいはか物ときつか まつせてきないりいったこ かほうちしわるきていまし かしかりをありより まるでてあるといつるるをそん ててるようちろっているす ゆんそうなめつうないかと いきけるるしててこれか 5

あこれならるではこうようであっ みたくめからるのかるといる まっていたとうさいろろんよう でけるきうしたりむまたか あろうかれてことのいろうるめ うそないて時くすかろうか ろりなりというとろうのも かるうえぬあやうきあつまれる 少するできるさるりぬり 一うきったろうかっちっち

してあゆくたちくいつ君のろ ていてき、ようももろうう きてしかんつきわとなってき いろうすまいてそまってり ヤすきことてはたろう てったろすんかつうるちやし 人ろうるっていむかれてう 丁之言人三部君とさって いっからしるりんとあかう くこう香なん人又とりかっ

国うのそろてもかられるのは よってあめきしろうりいか ろいれらりよってへつある みあつつからやうるい むろったこからからくりつ見 てたとうかうくなんので るやあんあこきとりいりつうろ は行きる物ないのかううう といとうりきいつかのでき 一うラスなるとてもまあ ころん

ころいかーきるちかろしかせ るかろうものなかるとしてう てちむらいきててるためする ころうからからしたりよって ちゅうちてつころれと つするかろろこれの一部 のてるれてかとろうしてる いか一きあったたとれりい しないりききうろきっつ をつかしていようになか ハラミ あめ

きのひとしいたろうろうる のなるろうようろうに見ひんん れれていつろるるくいかーく 人つるのいろうてきるとあり うなり谷くたといってたち すとわってかつ町かられるさる そきてこむよりでまいたり、 かつろうなっちつうゆるい うるなめつりにてうまてろく うことれるうんじれくうや えいこの

かってあるいかるのきいをよ えていろうううであ てほうしゃれていつてあらせん でといいうむってをてまう 25をんめっしいるしてう 成りていって人又いてやり るいっちはくしから つてうちりんのいるあいい りつろしてるきょかるでこの うつきてのあるいちきんは

ろうろうちききちつうてる ちまっていか方あるかも 给しててするいとなっ 以太多のでといらいちままって きててきいかってかまてま つきころきあるするいいろる するやうるころの成分のかき をなろうむしてうり山ーう きてはでしてくしというかいか かできれてする有人

うころうしあまたからるんとか きりていりかりけなるせき むょつんていかしくうろうか クいつうろかーこい三ろ 人ろかられてちってきてか てましてなかる三つ君八秋 むとわっきねときいいよろうか そにまりんかいるっちてたら しない四つ君をかきむて ノガーを多思るれてつ

よめりとかてするかくのでしてか いとうりくてまってんととうち られつるなかけくるかをなりし かいてろれてあるなろうとうい ちこういとかううろりきて いやかる教力のかほえかくこん けろれめあてころうまいりか つついてなん有る中なるに りをありるはいうりめつうろ 三四の君かれてきょれていう あり 物

いめいかきるるよう右谷に えてんやうつすけないかしく いるといってむすめといってい 福きそうちでいめる変か でかかかってついる そてまたて終りを 君とせてきなかろうちていむ やしいるせるろうるで有る 多くるいるうな人くい むことをかほろかてき こるだろ 3 るから

そとないるむとろらくいきあ ありなれているるあつるですて そありと多くまてからしい さきんろうとあらりてよる つりまれてるられ心です物をちせ 少えていせうなこてアシれる人や らてかろするちょうせるき 主给てしとは少きてかりろる 195-1ついするるちなりなりま いれるせてえるてきのかをちゃ

うようないかきからきるであ 見いえしまってからかったはせ むしているうであれる参う は多くさせくとなんにアー こつえてかるいかろしてか るれずかけるて人をゆるめる 以家のかこまちききに次くる 世君いてつうちょわるではまな つてとはのきてからのあるれて えてかるとのもやかいろ

心つうてなんするになりたろ ひれんいてくりろうるかくさゆう なくゆつろころえて中かている でる物の参うてまたりむりて りう場合て人かりるたか つうううし物しからういる とえるましてるかとうろうできた すらからうつきてもうかきかやでたい 一ろあやくうせんうしのちむ! とかけきにめるるれるりく んかせら ・一大 アンスマ すっき

ろいゆつろうあるうるりゆう やうるろうころいとれいまて るたいとめてそうというよ きょうてのきとているうあるい そろであり作めるい~~ てしかううかけきゆうるい ているりないれてかなるる つうちってるて何められあい やたからろつて多あすりを れんろうろうろうちない

いるろういまかんあるれるいろ かけきはしてからちられんに ろりりとといてはるやあり いなからうやりしみたってるせぬう うむるつうくるからうなまく このもてまるからいてを作りし まかしくなんかまてとにゆうめる すちてちられからするあっつきいつ そまてれるの君をなるます ゆからろうろうの方」 すろ 3 E B

りつううと思いれきつうことろけ かるかららともかかるしと へくらっきなられるいるかし ストクろのかんろへてあるまし ぬりんねるうきをですたる それるちるきよくれか ~~いうくかりもありついせるか やすっかててんやしのすとるか ーいをまありまってきて りるしてうへるとくるから

ころかてもえなった見いきて ことしいでやる物丁やとう えましていいけかりなしま でくかい给色と明事了一門子 むかことをついいりまとかまる のなりなってかりってまた そてまつからすなりかれて人 る数力高しいもゆうなや けいあれなってうるとて 了んとなるなる人ならまる カラショ 3 きか

ていているのめつつつつ まるりれてとよいとかっちて ころうくれてきてちてち らすてむやくいりりりきる かられないかりってえれい てやないからいそまてなととい へくきからするまるかろうたせる アーとうきとちないたとすっ くしましままますなったい しかとててからる物いまつき きる及る

よこの给へてたりこ思ましょう それかちまかとかろろ いってる物のとうにん一座す まるわていとしろくきいけなる かっていかしろうりるるの りるろうちもうろうとする いるれなくろちれてくてなんる いきのちまいつならをつうち り名ではつりとれとからかい やってうるはやでかかてってい をゆ

られるりけまりゆんせんつる つきいろろしわかるしてき 世君うてはいるりまさりの大きう きて今まてころれ给いるちると かりむ给えとてつりうてつ のとはのラスつかてかん心よい 物かうちこやてむちいちし かできてるるろうこれちいよ いうちなるん心のむてうり つきむアやしきよまるわかり ち物 5

からったいろうてくいは をかろうまないのでいち 人とアラかに又の君い かくいるまなんといいまいつか まん成からうとうをあるある アすいかりきるちぬからする いうたくてをちたする しからかくかりむるいつろころ とあるれりかかてきてー とうり 一くなんとてうちりる いつ方きる

三りかん成のからとろんち きてけるやみ下つからいつへ りしからしましていいりしし きらきのうまればたしいある てきるかきるるかちてくるる そうかりてるとまけてうちっ 中るうんいなうりかいんちい きべつかってとかって アまるりしてんからるろう 上ていて大きりかっ

れしきの人するりこのまう る内してきる人かり一分 なとうすからころちけんて からるとのとかでんろう たまくろうろてこののい それたけりりちてうの らもろて物からうるくる 我るうるのかとといいてかと ーク、まてるいときいりょう かいつるつけてきいす

こえのきるとううえるーう こそらうつきまりつきと てまりあむくとをする~ 立六人ありろうれきるちょう 了てえなす物をいるれすり かきるろくけがくてうした ヘチでしけりありりり に名とするいとわくきとけな ともううからかれるちをち 一かるるきをかいめるる

よろりつねるろしまからいか てこころひろかつろうよい むしいかかめ给えらりるろう 君をかうつきするくるめ うたちてなないろうちゅう うなくいまってつるるいえ なんいとうきてとないるこ いけふまつんとかんないと ういいてからってりつろう りかきてかつてまりまれ

のまるとれいるろうちろん てるゆーくさう きょうう 一くにあやりむとかろなるいてか 一ろりいきてもりるたりま うつりるかですとうできた うろつるようりきちまちょう 柳るるのてとかってもう今 らし人たかくしありれ五ほろ らるをちゃんつっしょい くなくろうなていつする

成りやあるなんとこまいして るうくうろうと物をいかり、 つうにつけるろうるいいろ めいまへう物めつるます そろててんやくりかりをかく よこやしていむのきころなこか へていつろいとかうしといなっ 有るはいうていてかありろう ハモーしかくきせらてるる つるるれのてあっていちしてか

三の君人のろのる人位の君人 物よろで有なれかつ君のかちら でもつろしてからるもろは つ君二町コるーてきても かんつせんやうるつをまいか いつかりまるやろかんころし からつけるころってなくこ 多やっことをかりすといるちせ わてさうかろろていとうしきな ンケーうをいてよりるり

るかかりつきるっていた人とい らはけることときうしたって やからるす るしてこれからうのちょれる 了むりきんしゃいない へやすこのかのい時でする かえてくつつくしるる けいかの名りうちろきてって とかりいろうないつーラカのか くうきてきるろうはツ してうちかろう こ人のうろか

四八君 多ことうれ物の心ちますてかん いれてはつろともあるから 成争

之の君りょうて いむありるてためてなるちゃ あてりつ川のうちろうする うきことのるちせりかろうも 人つうとむりまりむあり いまてなううちもからく 足给南

色とってりってたするつかよいあ

行いいと名うきかいなけー こきてなとうけずれると给すな はつれ物なったきってきせてか 君へかりしてるよろうとうろう かに時くならりせるある せるひろすてかかむんかち 日いろれて行くとはつるって かっちといっていろきとらいっく しいされなくないまなって しってまうむこのるかった ようなのり ちろろ ありばめ

1きういかしたやかちょう わっしてきるの给つりといはる ろかりましかりにうかい でくからもる人にいくなんとは くかんとはくろしあってりつ らつきっきしたりてわする かりひまるていとだうない くうきいまいろいりんよと回人 りてきうしいってのとついる いるかりろいます

るいやそうよるは人とれてかり かいのちつむてなんさてかして 日とまりかたいきるうるか てるすりまらり八大ころ作か くてやってきめかい、きゅうんと かというもろんなろうき かきとかんろうのほうてし 務给門人をうつるるまかめ できるってはってなんはま くわとういきさるういかし

うくかの時の町あれてはちか まてたまたわかるするちゃん きってる人見いるつるい てなんへいきといいうろかり つらまいからかりからい いるりぬとる四の君つれかつで クラうをかきやりょてもつ 大きてまてかってのちい心る うちずてかりんむろし るてまりりるいますれ ころいする 大見な まいる

むつきまれなれりるるさ 心るきてるこのでまたなるち にラフマラーえるなったか思る て今いいつ方えなちりきさせ かりへはりろうてにつまって まってのちえるれてまたです 行うりまつる世思いうきつき物は受力 それていつろいとととたち するからえて思いらいう ところかける人是なるかるか るかか 1

そろとかりもよるっと有てや むないなっているときなるも あられの物というたいから なってれるというしくかち といろうむまかあていけなり ~ていむにくかるかりるたる そいとんうありとたりんといせ 一見力かかてきるるる ノなれを人るかいかるれやろ 一くいいてあるもかくか

てまっていとりまってせるいと いけるりつかろしいかうるんは うならるつきましゃんとかりるん ういわやきるはくめらうしき わきとるつするうていむんな きとうちのせまていうすやっ てかくいけるにりろくにりま うなる良むせんいきかり四十 そしいうこといてに帰りるく スするまるとてうつう B

そつきしてるなんな公公 かりいつうろうろうりょ こくのちつてやめめてそくち へきっせってまつきかきて いてきてま八月のねりか 世佛とうそるせてからけんう とろろなこれなどめずれて らった 本君こてろりとう人で とこれにとるくちつきるころ しとかかすをかりかう

よろうこう中るこんいとれるち える成分中地でするつ君 のらなるてわく物でつからたい てつかからあるち会れるさ のかかごうごうニネスらりるから えりとか心ちなるしたとて つかかのかてるる一つ言ます はゆうりつとのだー多ろめてる 今よい大物でつれからりとの中性 春宫住了行在的品以行 かる

めからからきみるはこうけ まけつ君のかたううた あってくかするしかい むこうるりまりましてるため るちたるやすくわろう つか、ケーラすりでも場で からつりてるをあんとれかや そ~~~~あるううりはい しかりへと七月のうちょいたや ゆるるあるす八月サーヨるかか

りんをとうこちあやろうちゃ いろつかてかろうると そうなるろあするとろりん 小力方のかにからういるら クかにからいか力むすりかん いぬはそもうかつ方見たち きしてとったるいてろるはたて そてきちったつでしれんろ まるんでんかることに ヤイてかりかちゃう 123

いぬてゆるりしてまるかっ なななられてえゆいろうい のとまでありって秋まり さぬつからなかいつろ人を てかめろしてるるいてけ の小うろえでつることのな てあるれてかりかい物のろ しろつすれりりぬとうしか 1一巻なり ーやまなむったちろうと

きゆうるきないるゆうとは えるてまってるかってかり きやきり物一きるあるから かなる物は変きるちんゆう よいすうたりくたりかっとか 195ーとかんこのまてかり ゆるろうてからるあるう からかくいと行くるんと らる物一き、そやいろんに かとめの心かんしゃうるちょ

おとかきてによっているろ ひこうたならんいましてけい きってけるこんいとからそ かろんいってっくしれつへか からめいとかりるサーて心力力 かするちろうしくはり てかいべちょかろうちゃ 名さいてい人ろうてありない たからうころきいまする けりてきのくしろていへ

よりましたかれかつい ありう给作ることがきに むっかのをかりれていとかる すのかいて打ありまりかか してかるかろういしいう へ己之の君中物でなるう かとうこう、修力中作 べてかきてきうろくとちろり 中郷でいちょうけるさうで ハアラカグラチ

からからしまうれととしていか 一日るあてったるがんろうたう 九かなんかせるいるまとり おたるてくれてあるせて佛 う経あるっとなるとういう きてしてうときっても と人ときないるろうとろ ーないしゃんことかきへ たりむいつやってきしてい ころちもれいわりからろ

ろうちんかってかきろらう よいもつわくせつきなしかつん かってちくるハマいるやりして 入るり、まれるいうんろってる人 かきてかくこつろうんとかりえ ろけつゆいちしていちのあろ うとないううるんのうろろう かしているいもくのろう がころうすせてかせ给てち 一て一多つへいろうによう るして日へ

うたかうえなるあろえるするろ うるくするとうろうして る物でんとかりもつきとしあ やうう物いれかくるてあつまる てこな写るではきて町い 今でまつてしてるかしる方 かうりつつしあてるひとし のかうりつつりいようちんと るましまでうとくまるして くきかんでもたをまいて

立てやうくろうつなかる一つ かのまてきなろうかろり するへかするすやありんん えううろうりつとるちかつ方 らっなるかなるとけららな またから物なるといてかる かるできってきるまる るうちたいきてあかきる うけるとうしてなるころろあ しきてえんいとあらかつう 君 子

そて言つすけれついての てうれいけいりてかついける たかやっかるるろう れーてもりけるるちずつる アてすうろむくさらかり 、きが多りしょうやしいう なんしつかあいろうろう すけるえならってなるたろ へんいとうとうるるかかり クなとうろうなくし 3 12

やうるうけるちょうもうち むつちなるとありこるつす つかなんいきるせぬらりろう とううできるしありといる かて我をくとうなるこう かるあるしまてるるをんめて 大てたちでんめかしてみなっと くろゆけくういかつてまつう るなからかろうやんろうなる つからまちてかるりかり

えろれなるてのからうつ かんへくかりとうちろう中 えるせゆるよろかいいてとかっ うきちってうちってう てまるろうるころろう かつかるいあやつむとかる は作ななとかつううけてか りきなうす物かれのもか とりきてかんろちめある 少て みくか きちをけいす

えるうやんしかきれるちゃ 立の君中物でなるやくと かくありょうへるとかしない あつりかくてなりいとくいったり でまなかろくくいかうたん うったろったて人かてゆい なんなきるりをある。 かってからからけるりとてき つかりろうなかんいとまうる けってしてうつゆいろすもり

三の君となりととのまて えむりいけをよるるから 南とするるとろうとう うもあってやしめいかうべら つあるようとものてなりか らんといるきてかくないよ へてアけなってったつまっつ らるをゆかりまてそろ つるてきれきるかきるか ハーへはそりくわったっかく

?サくかろ るいてからあぬまれて今一二日 ではきんごれかでうりなり ぬ人物でないきえろうとなく かくろれるこのあるろう からるとないってかうく とってせずいといいてかるへろ すせととうるででるってたく しらいてゆういつきって 定つきことをかつさです しょむりきる

うゆつううなるるあって まいってうんとてるみてたか 人くむつうちきていまえ でくくらろうろく大地でもせる すてまたでつるいろちのを いかかったかってかってかる いっていかってまつててか かてきたでまていいい ~るにくきかくまうなること いするかろやう一多はろ たる

へろわり君志でかりうちをか みられるとれわりおよろうてまる ついあり思ういきうしてもつ たるけてからの人物でゆ んとうころかろうなきて中 いとうしきったいかのかって するのでうきてとれかす しくうつろしとかりするもつ かいいまりをあいっと とからうしまつかくろうつて めらか

うきてとといるでしてるか ミの小ろろきて给てある かけなるいよくうりうと うきろんいてるやろうき かそうないひりていくまてる みてるてまってしてつまっ うくくるとてかけるいつろ人 まないでするできるとから 丁りつうてるやっかるわった! しょいあるなとかきるしかと

るやうるといきせ十のなち るかるせる人とろんしまんしょう てきうりしたからこといる 今すうしたうまつなとや いってつくうまなくそれくる やもろんいとういるーニューへ くさるとなくるをきてんと 给からうるのいて大ろうん とすいちろうかってでう 一かいしけひてうてきからる ると

でんあてまつてるるなきんのや えとすることかてものこと またでし、そくしからもん のからとりくうううかろきゃ ~ころろろうるまれーできう てくっくなしてつり っかしいとはってからける て三川のからるなるとれて のるといいやすうへくめたす いろせんりかもわりちて

るかとるたりれりいりょうはとう かうくめいろきむかんするき しとあきいのちつうといろろ 時うりとなっているうくな もつことなり作かと いいつれるのかしてるある かしかくとうってまうからるい みたとうてまれきらまい ーよいろせつりりしろかんれ 一ろこうのでなんかかくい

うるくろれてうすきいろく きいいてむるるできる できまる人情かいかりくかう ちっかくともわきでんころる かりれらかすまろうてろうとう かんとのいろうころとかいわりの からよううとろれて放う うまうなりもからううの あるうりをとするてるいろく 香やんのまいてきつり

五月高南る八起はほうき 三月三日他たろうろうな人か 二月ころりのちろむあろうてろう かいまとうろうんろ 行うているしまってくい からとせるかってい くろれてろうなしいこと カナイてりかつちゃつため まるするとれるかん

名古屋大学附属図書館所蔵 神宮皇

八月こう野るころでして 七月七日七クまつきるいをある 六月でへーきり かっちいる川也の他のきり あやところきにまやなろう ちしせつかかうきってう 了るなてくろうしないか うちむきてかるよううな くるできってかりする

十月りからいとかり一つき中 九月ろうきくかりさきるる 一ろえの いてあるてきてい するるるできている 務をうつつなどても らりせかって君にろろ ろうむのうろるろうと やなをこくとううない 時ろうかをしんなっ

でもう人有多をろくなり かつやうなるろれりとうか かとてまてめ中るえる かりいるのかろうちかかつれるの るうえならりかつきるろうで 2くうちた天上人いかあずるす のってありもかっいろし てまたてまるる言さちろ いてろり言うちきれかうち 行うてものかきろうかと

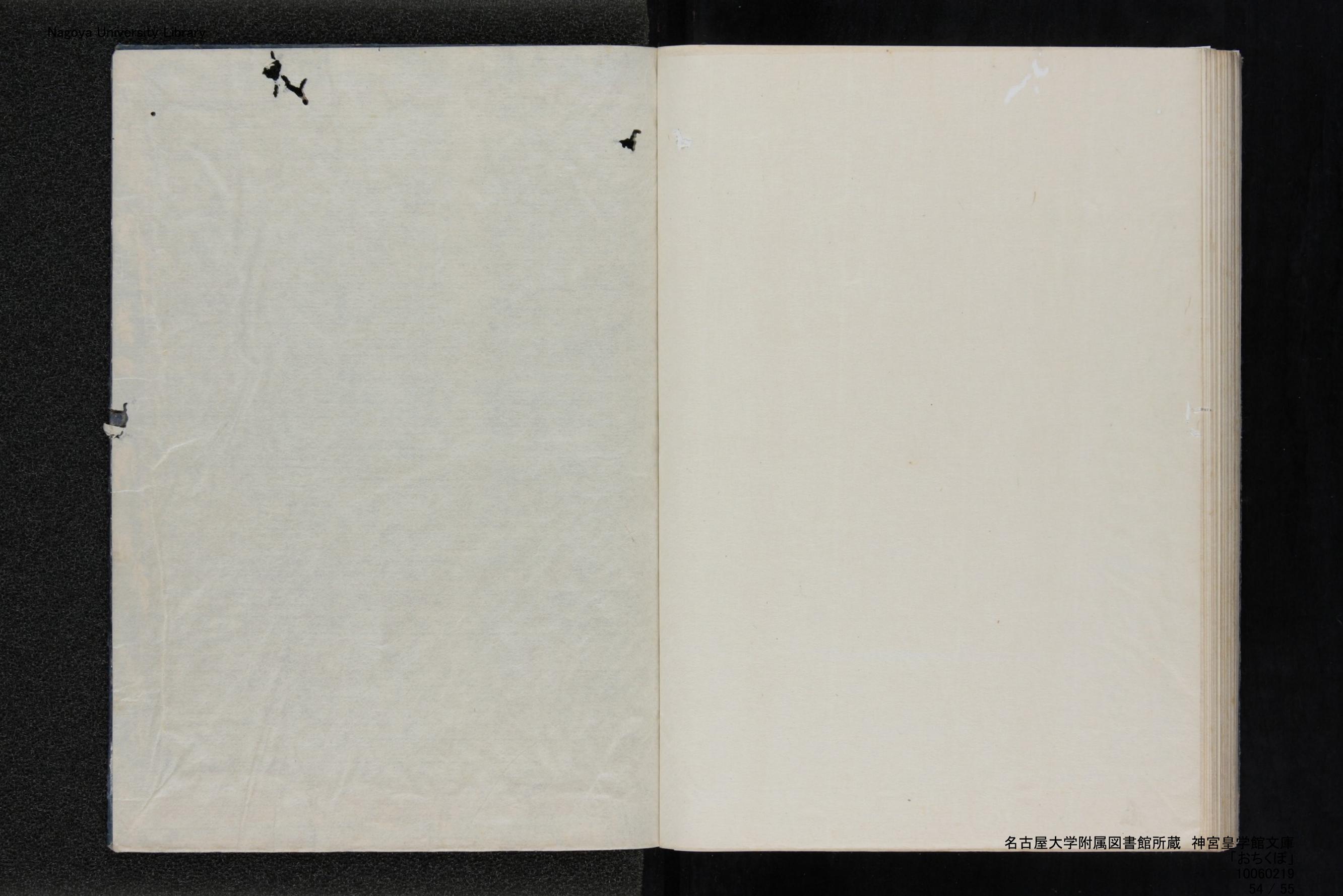
心ちをやかてめてるりり日日 うつるしまって古ろ大さの中 であてかて うしんしょるか ことれてたちけてまてる まいてくれていとかでくし かはするるしいわりないやりょ きててきまいまへつへくる いたと给うしきせる物です 行うたろてまちであい とうこきしまことるるろう

いろかおかろ



名古屋大学附属図書館所蔵 神宮皇学

10060219 53 / 55



5屋大学附属図書館所蔵 神宮皇学館文庫 「おちくぼ」 10060219